

『パパラギ』

J 361 / ツ

ツイアビ / 作 岡崎 照男 / 訳

がっけん
学研プラス

はやかわ よしお え
早川 世詩男 / 絵

およそ100年前、ヨーロッパを旅した南の島の族長が、島の人々に語った文明国の体験や印象をまとめた本。現代人の心にも突き刺さる、100年後にも残したいメッセージ。

『いつかあなたをわすれても』

J EY / イ

さくらぎ しの / 作

しゅうえいしゃ
集英社

オザワ ミカ / 絵

認知症のおばあちゃんに忘れられてしまったママは、これまでの思い出の荷造りを始める。やがて訪れるお別れを前にして、ママからおばあちゃんへの、そしてわたしへの思いが語られ…。小説「家族じまい」のもうひとつの物語。

『ジャンメ』

J 913 / ト

ともしり くるこ / 作

せいざんしゃ
静山社

まきの ちほ え
牧野 千穂 / 絵

1年目の夏、山の上動物園のメスクジャクは少年と出会った。3年目の夏、1羽とひとりでボール遊びをした。5年目の夏、メスクジャクは待っていた…。成長の痛みと愛を描いた1羽の鳥と少年の物語。

『うさぎになった日』

J 913 / ム

むらなか りえ さく
村中 李衣 / 作

せかいぶんかしや
世界文化社

しらと あきこ / 絵

はずかしがりのりこに、浜口先生が「おしゃべりノート」をプレゼントしてくれた。ノートの最後のページには、うさぎの絵が描いてあって…。



ちゅうがくせい こうこうせい
中学生・高校生(YA)

『ごはん食べにおいでよ』

YA 913 / コ

こでまり いるい / 作 satsuki / 絵

こうだんしゃ
講談社

ようこそ、ベーカリーカフェ「りんごの木」へ。あたりには、焼き上がったばかりのパンの香りが満ち満ちている。パンの香りは、幸せの香りだ。パンの味は、元気のエッセンスだ！

ひつじ こっかい
『羊の告解』

YA 913 / イ

いとう みく / 作

せいざんしゃ
静山社

いつもと同じ朝、中学3年生の涼平の父が逮捕された。容疑は殺人。真相も知らされないまま、突如“カガイシャカゾク”となった涼平は、父と同じ加害者なのか、それとも被害者なのか…。ある少年の、再生とゆるしの物語。

『ボーダレス・ケアラ〜』

YA 913 / ヤ

～生きてても、生きてなくてもお世話します～

りろんしゃ
理論社

やまもと えつこ さく たけなみ おとは え
山本 悦子 / 作 竹浪 音羽 / 絵

祖母が飼っていた犬の豆蔵が死んでひと月あまり。海斗は豆蔵の空のリードを持って散歩をすると、死後の世界へ行かず、生と死のはざまに立っている存在、「ボーダー」の姿が見えることに気がついて…。

『ぼくたちのスープ運動』

J 933 / テ

～小さな思いやりが世界を変える！～

ひょうろんしゃ
評論社

ベン・デイヴィス / 作 渋谷 弘子 / 訳

ジョーダンが、ママが持たせてくれた温かいスープをホームレスの人にあげたことから広がっていった「スープ運動」。やがてジョーダンは、小児病棟で出会った少女との「大切な約束」が自分の行動の芯にあることに気づき…。

